

第2期教育振興基本計画で目標とされている環境イメージ

コンピュータ教室 40台

コンピュータ教室では、資料や作品を長時間にわたり作成することがあるため、大きな画面のコンピュータを整備することが重要です。



ICT 支援員

校内でのICT活用をサポートします。授業でのICT利用のハードルを下げ、授業内容を一層充実させる効果も期待されます。



超高速インターネット接続率 及び無線 LAN 整備率

100%

各普通教室

コンピュータ 1台 / 電子黒板 1台 / 実物投影機 1台



特別教室用として

コンピュータ 6台

先生方にとって負担なく日常的に利用できるように、常設で整備することが重要です。また、授業で安心・安全に利用するために授業支援ソフトやセキュリティソフトの整備も忘れてはならないポイントです。

児童生徒による発表



特別教室での授業



第2期教育振興基本計画で目標とされている水準

- 教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数 3.6人
 - ① コンピュータ教室 40台
 - ② 各普通教室 1台, 特別教室 6台
 - ③ 設置場所を限定しない可動式コンピュータ 40台
- 電子黒板・実物投影機の整備 (1学級当たり 1台)
- 超高速インターネット接続率及び無線LAN整備率 100%
- 校務用コンピュータ 教員 1人 1台

タブレット端末導入に関して

1 平成 28 年度タブレット端末導入希望校

- ・ 小学校 … 10校 ・ 中学校 … 2校

2 希望する理由

- (1) 授業での活用(学力向上、思考力・表現力の向上、興味・関心等の向上など)
 - ・ 体育等で動画を撮影して、その場で子どもたちに見せたり、観察等の記録に使ったりできる。
 - ・ 復習や発展的学習に使えるソフトが導入されれば、授業内での復習や発展的学習に使用できる。
 - ・ 資料提示や観察、実験などに有効に活用し、基礎学力定着に向けての授業の活性化を図る。
 - ・ 児童個々の学力向上及び子に応じた指導の充実につながる。
 - ・ 子どもたちの主体的な学び、協働的な学びを充実させ、学力向上を図る。
 - ・ 授業で活用することで、更に楽しく分かりやすい授業への転換を図る。
 - ・ タブレット端末を活用した発表を行うことで、表現力の向上を図る。
 - ・ 子どもたちが興味を持って学習に取り組める。
 - ・ 情報活用能力の育成を図る。
- (2) 複式学級(小規模校)での活用
 - ・ 複式学級の間接指導時に、有効に使える。
 - ・ 極少人数ではある故に、相手にきちんと伝える技能を、他の学校規模と同じようにつける必要がある。タブレット端末は、その力を高めるために大変有効である。
- (3) その他
 - ・ 職員の資質向上の向け、職員の研修用として希望する。
 - ・ 電子黒板との有効活用を図りたい。
 - ・ 使用方法や活用の仕方について来年度から職員研修を実施していきたい。

3 希望しない理由

- (1) 人的理由から
 - ・ 教える側の体制を整えてからでも良い。
 - ・ 現在、タブレットの活用に長けた職員がいない。研究会・研修等へも参加した経験もない。今後の導入には期待はあるが、リーダーとなる人材や指導者の配置などがなければ、効果的な活用が難しい現状である。
 - ・ タブレット端末の使用に精通している職員がいない。
- (2) 効果面から
 - ・ セキュリティの関係で、インターネットの教育関係サイトに自由に接続できない状況であるため、タブレット端末を導入しても費用に見合う十分な効果が上げられるか疑問であること。
 - ・ タブレット端末の効果が実証されてから導入したい。
 - ・ 喫緊に必要性を感じていない。
 - ・ 教科毎にどのように使用するのがまだ見えない。
- (3) 施設(ハード・ソフト)面から
 - ・ 書画カメラがすべての普通教室に常時接続している状態に整備できれば、手持ち資料を活用できるものと思われること。
 - ・ 書画カメラを先に導入して欲しい。
 - ・ 保管に支障をきたす可能性がある。
- (4) その他
 - ・ タブレット端末利用について管理職も職員も不慣れであり、どのような利用方法があるのか今後研究していく必要がある。
 - ・ 書く指導を大切にする発達段階であることから、特に必要を感じない。
 - ・ 先進校におけるタブレット端末の活用について研究を深めた上で導入したい。

4 導入にあたっての要望等

(1) 人材及び研修面

- ・ タブレット端末の効果的な活用法について、アドバイザーの方に定期的に、または導入時しばらくの間、教えていただく機会を設けてほしい。
- ・ 導入当初の年度は、研修会を開いて欲しい。また、継続的な研修の機会も必要である。
- ・ 職員研修等への講師派遣や授業活用時の指導者の派遣についても、職員の希望に応じて対応してほしい。
- ・ ICT支援員の配置をして欲しい。

(2) ハード面

- ・ 可能な限り大画面のタブレットを購入して欲しい。
- ・ 1人1台、活用できるように整備してほしい。
- ・ 現在使っている機器との併用ができるような整備をしてほしい。
- ・ 各教室や体育館、特別教室等でも端末が利用できるような環境整備を整えてほしい。
- ・ こわれにくいものを導入してほしい。
- ・ 生徒が十分に活用できるように、導入台数を確保して欲しい。
- ・ タブレット機器とテレビなどとのICT機器との連携がとれる設定を組んで欲しい。
- ・ 学校のパソコン環境から考え、OSをWindows系のタブレットにしてほしい。

(3) ソフト面

- ・ 国語・社会・算数・理科の4教科の学習内容の復習や発展的学習に使えるソフトを導入してほしい。
- ・ タブレットにもデジタル教科書もインストールしてほしい。
- ・ タブレットを発表用の小黒板として使えるシステムにもしてほしい。
- ・ ソフトの充実をしてほしい。

(4) 保守・管理面

- ・ ICT機器全体について、メンテナンスや操作法相談に、即時に対応できるような仕組みが必要である。
- ・ 児童が扱うので、補償やサポート体制が必要である。
- ・ 導入にあたり、保管等のセキュリティーを考慮し必要なものを合わせて配布してほしい。
- ・ 必ず保守契約(修理など)を結んで欲しい。

(5) その他

- ・ 導入後に公開授業等を求められると負担が大きくなる。
- ・ プリンターのインク代にも予算を付けてほしいという意見がある。
- ・ 基本的には、推進校・モデル校に導入し、市内研修を通して職員のリテラシーを向上させてからの全体導入が望ましいと考える。